

98

講師用テキスト

トラブルを避ける 契約の重要性

ビジネスでなぜ契約が重要かを理解
ビジネスを円滑に進めていくために重要な契約
について、失敗事例を交えながら鮫島弁護士
が語る。



考察

スタディーケースについて 以下の設問について考察しましょう。

1. 契約が原因で生じるビジネス上のトラブルにはどのようなものが考えられるでしょうか。

- 生産技術の未熟な生産受託会社との契約に独占条項があるために、他社に生産委託できず、商品発売が大幅に遅れてしまう、または商品クレームが大量発生する。
- ソフトウェア開発やデザインなどをフリーエンジニアや外部業者に業務委託する際、業務委託契約書に知的財産権に関する条項がない場合、成果物帰属（著作権含め）に争いが生じる。成果物の改変ができない=バージョンアップやデザイン修正が不可能となる。
- 秘密保持条項がなかった、あるいは不十分であったため、自社の技術情報が漏えいしてしまった、あるいは目的外で利用されてしまった。
- 再委託禁止（制限）条項をもうけなかったため、技術力の低い工場に再委託され、低品質の商品が納品された。
- 第三者の権利を侵害していないとの表明保証条項に「知る限り」等の限定を付さなかったため、第三者の権利を侵害していることが判明し、契約を解除された、あるいは損害賠償責任が発生した。
- 契約上の権利義務の譲渡制限条項、通知条項をもうけなかったため、知らないうちに契約の相手方に変更が生じていた。



鮫島正洋（弁護士・弁理士） 内田・鮫島法律事務所

2011年直木賞受賞作池戸潤氏著「下町ロケット」に登場する神谷弁護士のモデルとなった、弁護士・弁理士。
1963年生まれ。東京工業大学金属工学科卒。1992年に弁理士登録。1999年に弁護士登録。株式会社フジクラ・金属材料開発部、日本IBM株式会社・知的財産部、松尾総合法律事務所を経て独立。知財弁護士・弁理士として内田・鮫島法律事務所を設立。特許訴訟・ライセンス交渉・新リーガルサービス等を専門に活躍中。東京工業大学特任教授。主な著書に「特許戦略ハンドブック」(編著・中央経済社)など。

2. 契約トラブルのリスクを低減するために、ビジネスに長けた顧問弁護士をどのように活用すればよいでしょうか。

- 社内の基礎的知識水準を上げて、打合せを高効率化する。
- 契約を締結する前に事前相談をして、契約締結上の注意事項につき助言を受ける。
- 先方が提示してきた契約書のチェックを依頼する。
- 単なる契約書の検討依頼や相談ではなく、それらの背景にある事業環境や事業戦略を日頃から共有する。
- 有名事務所が顧問であることを積極的にアピールして、「もめると面倒」という印象を他社（の顧問弁護士）に抱かせる。

2. ビジネスに長けた顧問弁護士の力を借りる以外に、契約トラブルのリスクを低減するにはどのような対策が考えられるでしょうか。

- 部門に関係なく、基礎的な法知識を身に付ける。
- 相手方とコミュニケーションを十分にとり、誤解によるトラブルを防止する、協議によってトラブルを解決できる関係を築く。
- 契約を締結する前に、相手方の信用調査を十分に行う。
- 打ち合わせ等での合意事項を記録して残しておく。

MEMO

98

受講者用テキスト

トラブルを避ける 契約の重要性

ビジネスでなぜ契約が重要かを理解
ビジネスを円滑に進めていくために重要な契約
について、失敗事例を交えながら鮫島弁護士
が語る。



考察

スタディーケースについて
以下の設問について考察してください。

1. 契約が原因で生じるビジネス上のトラブルにはどのようなものが考えられるでしょうか。

(参考事例) 秘密保持条項がなかった、あるいは不十分であったため、自社の技術情報が漏えいしてしまった、
あるいは目的外で利用されてしまった。



鮫島正洋 (弁護士・弁理士) 内田・鮫島法律事務所

2011年直木賞受賞作池井戸潤氏著「下町ロケット」に登場する神谷弁護士のモデルとなった、弁護士・弁理士。
1963年生まれ。東京工業大学金属工学科卒。1992年に弁理士登録。1999年に弁護士登録。株式会社フジクラ・金属材料
開発部、日本IBM株式会社・知的財産部、松尾綜合法律事務所を経て独立。知財弁護士・弁理士として内田・鮫島法律事
務所を設立。特許訴訟・ライセンス交渉・新リーガルサービス等を専門に活躍中。東京工業大学特任教授。主な著書に「特許
戦略ハンドブック」(編著・中央経済社)など。

2. 契約トラブルのリスクを低減するために、ビジネスに長けた顧問弁護士をどのように活用すればよいでしょうか。

(参考事例) 契約を締結する前に事前相談をして、契約締結上の注意事項につき助言を受ける。

2.ビジネスに長けた顧問弁護士の力を借りる以外に、契約トラブルのリスクを低減するにはどのような対策が考えられるでしょうか。

(参考事例) 打ち合わせ等での合意事項を記録して残しておく。

MEMO